

日本の明かりが脅かされているのに 経済界にも国民にも知らされず

国際資源戦争から日本の明かりを守らなくてはならないという警鐘を発し続けてきたが、先週これを裏付ける統計資料が発表された。

日本照明工業会の2024年度の出荷台数では、2月までで白熱電球4600万灯、放電ランプ4000万灯、LED灯合計で2500万灯、LED月産では23万灯。このうち直管LEDは年間650万灯。2027年に蛍光管を製造禁止にする水銀水俣条約の発表が2023年12月で、これを閣議決定したのが2024年12月なのだから、この出荷のほとんどは、景気回復による新築着工への供給ではないかと考えられる。

さて、経産省情報産業課に何度問い合わせても答えが出ない照明の需給バランス問題だが、東京新聞の記事によると蛍光灯

は全国に7億灯あるという。通常蛍光管2本で1灯の器具が多いので、仮に14億本の蛍光管があるとすると、このうち何割がLEDになっているか誰も把握していない。把握していないけれども、あと2年半で蛍光管は製造禁止になる。蛍光管を点灯させるための安定器は2019年に製造終了しているの、寿命が来た順に照明は消えていく。その時点で年間650万灯のLED生産能力が全国からの発注を賄うことができなければ、間に合わない施設は停電（不点灯）したままになるのである。

■サプライチェーンの危機

先程の数字を元に極めて粗い想定をすると、2011年の東日本大震災で閣議決定された「あかり未来計画」から日本の

日本は、尖閣問題や台湾問題などが起きないうちに完全LED化を達成しないとならない。

このような大変な事態にもかかわらず、昨年1年間、政府は照明危機に対して何の広報周知も行わなかった。今年の経済界の新年会で商工会議所会頭も銀行頭取も「2027年問題」を知らず、「なぜこんな大事なことが我々に知らされていないのだ」と驚いていた。答えは原子力の再稼働であると私は考えている。蛍光管の製造禁止は23年12月にはスイスの国際会議で決定しているが閣議決定されるまで1年が経過した。

これは何故か。中国が仕掛けた資源戦争とは別に、国内では3年ぶりのエネルギー基本計画の改訂で原子力の再稼働という大きなシナリオをオーソライズしようとしていたのである。「AIの進展や半導体工場の稼働により莫大な電力量が必要となり、原子力の再稼働が必要となる」。このような電力爆増シナリオの



危機管理コンサルタント

越智文雄の

時論・持論・自論

〈第36回〉不正と不作為と利権

LED化が本格化したとして、年間600万灯を14年間フル生産して8000万灯程度。残りの13億灯はまだLED化されていないのではないかとという想定ができる。海外メーカー製品を輸入していたと仮定して、バツサリこの半分の6億灯がまだLED化されていないとしても、あと90年!! 近くかかる計算になる。

ミクロ方式で想定すると、当社が沖縄県から委託を受けた調査では、12階建ての沖縄県庁の庁舎ビルで1万8000本の蛍光管が使われている。東北のある市の67校の小中学校で5万灯、数年前に学生数十人を使って実測した北海道大学全棟で12万灯。このような規模のLED化の発注があと2年半で全国の政府機関、都道府県、市町村、民間企業から発注されると考えると月産50万灯程度の生産能力で間に合うはずがない。

ある照明メーカーの本部長に確認したところ、「大規模の発

前に、「日本中の照明がLED化されると発電所が10基いらなくなる。空調の冷媒ガスを自然冷媒に変えると20基分の省エネが実現する」といった事実が邪魔だったのである。

状況証拠だが、24年12月17日に第7次エネルギー基本計画は発表され、その翌週の24日に2027年蛍光管製造禁止が閣議決定された。今回の日本のエネルギー計画には、省エネという当然あるべき章建てはない。

この日本だけの原子力再稼働事情のため日本は世界から2年は遅れてしまった。ランプがウクライナとシベリアな交渉をしている間も、蛍光管が無くなってしまうことを日本の経済界にも国民にも知らされていなかった。このせいで日本の社会経済の基本機能である明かりが脅かされているのである。

■利権と不正

これほどの危機感を持つて全国に継承を鳴らしているが、こ

れを地域の危機として考えずに、自分の利権を守ろうとだけ考えている団体もある。日本の明かりを守るのだから、メーカー団体の照明工業会とLED化工事を進める電気工事業界がその主役となるはずだが、彼らの中には利権や自社利益を守ることに主眼を置き、この国難とも言える非常事態への対応を考えようとしていない勢力もある。

いくつかの自治体のLED化入札では明らかな独占禁止法3条違反の入札妨害や自治体を巻き込んだ談合と疑われるような利権誘導が散見される。例えば、ある大手リース会社ではこの巨大なビジネスチャンスに、地元電気工事業者組合を囲いこんで他の競合リース社には工事協力しないように入札妨害をするのが常套手段になっている。官製談合を疑われるような不正な入札条件を設定したり、担当職員以外は持つていないはずのない落札参考金額を入手していた例もある。都道府県や政府調達で

照明の2027年問題を解決! 灯りが無くては商売できない!

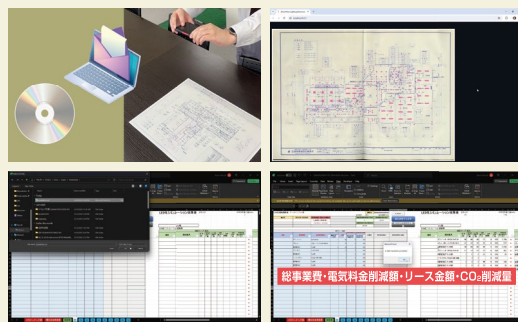
本誌連載で警鐘を鳴らしてきた照明の2027年問題がいよいよ私たちの生活に影響を与え始めました。LED照明資材の不足と値上がりが始まる前にLED化を終えてしまいましょう。試算見積もりからリース設計、LED資材の確保と工事手配まであかりみらいがお手伝いします。

無料で AI図形認証プログラムによる LED化試算見積もり

あかりみらいAI図面認証システム 特許技術

照明図面をスマホで撮影してデータを送っていただければ、翌日にはお見積りします。

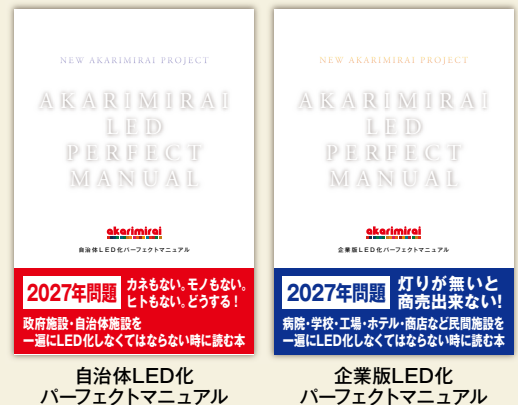
詳しくはこちらの動画をご覧ください



数週間から数ヶ月かかる試算を僅か数分で作成することが出来ます

無料で贈呈中 一括LED化の全てがわかる LEDパーフェクトマニュアル

2027年問題の解決策を解説



株式会社あかりみらい
akarimirai

お問い合わせはこちら

0120-760-814
フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

詳しくはホームページをご覧ください

あかりみらい

検索

【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17 セントラル札幌ビル4階 【東京支社】東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル7階
【大阪支社】大阪府大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階 【沖縄あかりみらい】沖縄県那覇市久茂地2丁目19-5

初期費用不要 リースならば初期費用なし

単月の費用分配イメージ



電気代削減の範囲内で
支払うので新規負担なし

※民間企業の場合はリース会社の与信の査定があります。

LED化で浮いた電気料金で、 次は空調の冷媒交換

自然冷媒に交換することで、30から50%の省エネに。



動画解説は 検索 あかりみらい 冷媒交換

空調の知られざる真実

省エネルギーにおける不正義というテーマで忘れてはならないのは、空調分野で電気代が半分になる可能性が国民にも経済界、産業界にも知らされていないことである。地球温暖化問題で、空調の冷媒ガスとして使われているオゾン層を破壊するフロンというガスが使われて

は90年分とは言わないが、10年分、20年分のポリウレムのLED化発注が2年、3年で必要になるのだから、今までのような地域にお金をばらまく公共工事ではこの国難は乗り切れない。10年分20年分の仕事を2年半で成し遂げねばならないことを真剣に考えて、解決策を研究して欲しい。

地域の明かりを守るのには本来誰が主役になるべきなのか。知事も市長も町長、村長も議会も経済団体も真剣に考えないと、もう時間は残されていない。なぜか。空調の冷媒ガスをこの自然冷媒ガスに交換すると電力消費量が3割から5割下がるからである。空調の電気料金が半分近くになるのならば、電気料金高騰による物価高も国民負担も数兆円規模で改善される。空調の電気料金が半分近くになり、クーラーの寿命が延びれば、経営も家計も財政もどれほどの負担が軽くなることか。

しかし、この省エネ効果についても原子力再稼働をシナリオとする政府のエネルギー基本計画には触れられていない。また、ここには空調業界の利権も絡んでおり、現在の代替フロンガス

には数千億円分の契約在庫があり、これを使い切るまではどんなに優れた新製品も採用させないというこれまた業界の利権行動がある。空調工業会は「自然冷媒ガスは火が出る」とデマを平気で流し、このガスに替えるならばメーカー保証はしないと、自分たちの在庫と利益を守ろうと躍起になっている。最新技術を封じ込め、普及を妨害している業界とそれを黙認する経産省。電気料金に苦しむ国民や産業界から見るとこれは犯罪行為そのものだと言える。

「なぜこんな情報が我々に伝えられないのか」
みなさん、大きな声を上げていただきたい。

2024年度 (一社)日本照明工業会 光源類自主統計月次推移表(輸出含む全出荷)

2024年4月~2025年2月

区 分		上段:出荷数量(千台) 下段:出荷金額(百万円)																							
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		合計	
		実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
LEDランプ	電球形 LEDランプ	1,634	82.1	1,505	89.1	1,648	90.3	1,805	118.8	1,460	91.3	1,498	92.8	2,013	107.2	2,059	98.9	2,097	86.5	1,664	93.9	1,479	92.0	18,862	94.3
		2,476	83.7	2,245	94.9	2,326	79.0	3,034	115.0	2,184	91.3	2,449	93.3	2,895	101.5	2,995	97.5	2,986	95.0	2,616	103.4	2,480	96.6	28,686	95.3
	直管 LEDランプ	497	66.7	428	64.2	538	66.3	546	106.6	438	61.0	535	65.9	706	91.5	624	78.0	534	95.7	601	130.1	527	82.5	5,974	79.7
		1,116	67.4	1,217	72.7	1,619	80.6	1,729	111.0	1,422	80.9	1,772	87.2	2,002	104.0	1,827	83.8	1,887	96.1	1,851	127.8	1,531	89.7	17,973	90.3
	環形 LEDランプ	1	33.3	2	100.0	2	100.0	2	100.0	1	50.0	1	50.0	2	100.0	1	50.0	2	28.6	9	150.0	1	10.0	24	60.0
		3	37.5	7	100.0	6	66.7	7	100.0	5	55.6	5	71.4	6	75.0	6	66.7	8	61.5	24	266.7	2	7.4	79	69.9
	コンパクト形 LEDランプ	15	55.6	22	91.7	27	90.0	24	133.3	16	69.6	28	127.3	26	104.0	22	61.1	24	85.7	29	65.9	23	67.6	256	82.3
		41	65.1	59	101.7	68	95.8	60	136.4	46	76.7	67	117.5	68	100.0	55	67.1	63	84.0	74	84.1	50	60.2	651	86.9
	LEDランプ 合計	2,147	77.6	1,957	82.2	2,215	83.0	2,377	115.8	1,915	81.8	2,062	84.2	2,747	102.7	2,706	92.7	2,657	88.0	2,303	100.8	2,030	88.6	25,116	90.2
		3,636	77.6	3,528	85.9	4,019	79.9	4,830	113.7	3,657	86.7	4,293	90.9	4,971	102.4	4,883	91.4	4,944	95.2	4,565	112.0	4,063	92.7	47,389	93.2